



たき火を囲んで 薪割り大会

とき 12月9日(日) 10:30-15:00

ところ 彩工房 笠取工作所



彩工房では、「暮らしと住まい」をテーマに、日常を豊かにするさまざまな催しを行っています。
12月は、恒例の薪割り大会を開催します。

暖かい炎を眺めていると、時間が経つのを忘れるものです。
こうばしいたき火の匂い、澄んだ森の空気、寒い冬もやっぱり外は気持ちがいい。

子どもは、枝葉や木くずで遊んだり、大人は木を伐って、割って、
一日木こりになったような体験をしてみませんか。

会場は、豊かな森の中に佇む工作所です。

山から伐り出された木が職人さんたちにより乾燥・製材され、強く美しい木組みが生まれていく
過程を見ることができます。

木の匂いがいっぱいです。ぜひ覗いてみてください。

毎年好評の、しいたけの原木菌打ち体験もやりたいと思います。

薪ストーブって、暖かいの？やっぱり手間がかかる？薪はどうやって集めてる？といった
薪ストーブに関するよもやま話もしていただけます。

薪ストーブをお持ちの方も、たき火が好きな方も、木が好きな方も、ぜひお集まりください。
思い思いに冬の一日を楽しみましょう。

主催：彩工房



木を燃やす

火が燃えだすと、その場の空気が変わる。そんな気がするの、生き物の本能でしょうか。

子どもは火遊びが大好き。でも実は大人も、なかなか火のそばを離れられません。くべた木が、だんだんと燃えていく様子に見入ってしまいます。体の中からじわじわ暖まってきて、なんとも心地よい。少し気まずい人との間にも火があると、なかなか居心地がよくなったりするから不思議です。

おじいさんおばあさんが子どもだったころ、森で木を拾って運んでくるのも、燃やしてお風呂を焚くのも、子どもの仕事だったとか。もちろん火傷をします。薪の用意も掃除もついて回ります。

それでも火がもたらしてくれる楽しさ、美味しさ、ほっとする感じ。そんな感覚は、もっと大切なものなのかもしれません。

木が燃えて残るものは、灰。灰は畑の栄養となります。木を伐り出した後の森。そこには新たな木が芽吹きます。便利な電気やガスが広まって、私たちも、子どもたちも、森に入らなくなりました。

遠い国から燃料を買ってくるよりも、近くの森の木を燃やして暖まることは、案外賢い選択なのかもしれません。



12月9日(日) 10:30-15:00 *雨天決行

会場 彩工房 笠取工作所

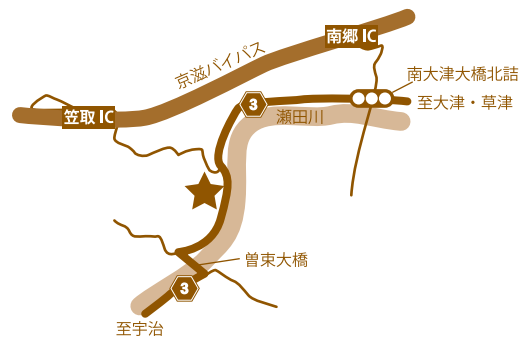
〒601-1393 京都府宇治市二尾膳前谷 9-1

- ・京滋バイパス笠取IC、南郷ICから共に5分
- ・各インターより滋賀県道・京都府道3号(宇治川ライン)を宇治方面へ、乗馬クラブ(カシオペアライディングパーク)入口を右折すぐ

参加費 600円/名(乳幼児無料)

- *食器を持参された方は、参加費から100円引き致します。
- *ご飯、ユキさんのあったかお野菜スープ、スタッフ手製のダッチオープン料理等のお昼、おやつ、保険代を含みます。
- *割った薪は、一家族10束1,000円にてお持ち帰りいただけます。

定員 40名



お申込み・お問い合わせ ▶▶▶ <http://www.saikobo.co.jp>

彩工房ホームページのお申込みフォームにて、参加される方全員のお名前とご連絡先をお伝えください。11月24日(土)より受付を開始します。

今後のイベント

- 2月2,3,4日 完成見学会
- 2月9日 森かおるさんのミニ料理教室

彩工房

info@saikobo.co.jp
tel:075-632-9889
京都市山科区四ノ宮大將軍町15

よい家をつくる。